

内閣総理大臣 岸田文雄 様

抗議声明

岸田政権は原発新增設等への政策転換をやめよ！

岸田首相は8月24日の「GX 実行会議」において、「原発10基の稼働確保」、老朽原発の「運転延長」、「次世代革新炉」などについて、「年末に具体的な結論」を促す発言を行った。これに対し、私たちは断固として抗議する。

省庁横断的な「会議」の持ち方も、求める方向も、経団連の提言「グリーントランスフォーメーション（GX）について」の引き写しである。原発の甚大な危険をさらに増大させるとともに、使用済み核燃料等の処分困難性を無視した乱暴なものである。国内で実用化された大容量蓄電池技術を十分生かそうとしていないのも、原発にこだわるゆえの失策である。

福島事故は今も解決しておらず、自宅に戻れないままの避難者も多く、緊急事態宣言は今も継続している。福島第一原発では放射能汚染水が発生し続けており、タンクに溜められたALPS処理水の成分はトリチウムだけではない。また、原発事故時の避難方法も確立していない。

原発の未来に確実な安全はないのであり、原発への固執を捨てるべきである。

- 一つ、福島原発事故を顧みない「原発稼働方針」、老朽原発の「運転延長」、「次世代革新炉の開発」方針に厳しく抗議する
- 一つ、原発事故の危険と核廃棄物処理の困難を無視した財界方針丸呑みで、国民に災禍をもたらすものである
- 一つ、国内原子炉の停止と廃炉こそ急ぐべきである
- 一つ、電力系統に蓄電池変電所と蓄電所を設置し再エネをフル活用せよ

2022年9月22日

伊方原発をとめる会

愛媛県松山市中央2丁目23-1 平岡ビル201